

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1105	(H.26)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	多面的機能支払交付金事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	日置 光昭	

会計区分	事業コード	302101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	農林水産業費	日本型直接支払交付金事業
項	農業費	(小事業名)
目	農業振興費	多面的機能支払交付金事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成等の多面的機能を有している。これら多面的機能の維持・発揮を図るための共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。

事業内容
農地維持への支援～農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げ等地域資源の基礎的保全活動等を支える共同活動を支援する。 資源向上への支援～地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や景観形成等の農村環境の良好な保全活動など支援する。 施設長寿命化への支援～農業施設の長寿命化のための補修、更新等を行う組織を支援する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)			
	市内22地区の農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るための共同活動・向上活動に対して支援を行う。 (26事業名:農地・水保全管理支払交付金事業) ・負担金:6,388千円 (農地維持支払 3地区 農地維持+資源向上 17地区 農地維持+資源向上+長寿命化 2地区) ・事務費:49千円	継続組織の22地区に加え市内数カ所の新規組織及び新しい取り組みについて、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るための共同活動・向上活動に対して支援を行う。 ・交付金:30,000千円 (継続組織 22地区+新規組織4地区<<予定>>) ・事務費:100千円 注)平成27年度より法制化に伴い市からの直接交付事業	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
			市内の農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るための共同活動・向上活動に対して支援を行う。	市内の農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るための共同活動・向上活動に対して支援を行う。	市内の農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るための共同活動・向上活動に対して支援を行う。

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	6,437千円	30,100千円	36,000千円	41,000千円	41,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金	20	22,520	27,250	31,000	31,000
地方債					
その他(基金繰入)		218			
一般財源	(0) 6,417	7,362	8,750	10,000	10,000
職員	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等	0.01人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
②概算人件費	(0千円) 1,142千円	2,145千円	2,145千円	2,145千円	2,145千円
①+②総事業費	(0千円) 7,579千円	32,245千円	38,145千円	43,145千円	43,145千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
農地、農業用施設、地域の農村環境の保全を図る活動組織を新たに10組織(計22組織)立ち上げることで、名張市内の農用地の約50%が多面的機能支払の活動エリアとなった。また、水田や水田畔畔を活用した景観作物の植栽が行われた。	本事業は地域の農村環境の保全と向上に寄与しており、新たな活動組織の立ち上げを本年度も引き続き支援することにより、市内の農用地に占める活動エリアの割合を増やしていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	水田等に景観作物を植栽するなど、農村環境の保全・整備に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	農業者のみならず、地域住民や地域団体が協働して事業に取り組んでいる。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第2次名張市農業マスタープラン
当交付金を活用した地域での農地、農業用施設、農村環境を守る活動が活発に実施されており、名張市内の農村環境の保全を今後も推進するため、活動組織数の増加及び活動エリアの拡大が必要である。	